

2021年12月21日

各 位

会社名 三菱ロジスネクスト株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 久保 隆  
 (コード番号 7105 東証第一部)  
 問合せ先 管理本部 総務部長 公受 正道  
 (TEL : 075-951-7171)

## 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所（以下、東証）の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出しました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下の通りであり、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関して2023年3月末までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	12,014人	242,746単位	274億円	22.7%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	—	○

※当社の状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社は、当社株式の64.6%を保有する三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）を親会社に持つ上場子会社であり、三菱重工グループが保有する技術や調達・営業力、また信用力補完、グループ金融の活用など三菱重工グループの総合力を活用し事業を拡大してきました。当社は、当社の持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するために、三菱重工との現在の資本関係を維持し、引き続き三菱重工の総合力を活用、連携を強化すると共に、必要な資本政策を適時、適切に実行してまいります。

スタンダード市場における上場維持は、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンスを備えた会社であることを示すために重要であると認識しており、スタンダード市場の上場維持基準を充たさない流通株式比率については、事業法人・金融機関等（以下、事業法人等）の保有する株式比

率の縮小を課題として速やかに取り組んでまいります。

基準日時点において、当社の流通株式比率は 22.7%であり、スタンダード市場の上場維持基準 25%までの残りの 2.3%については、当社株式を保有する事業法人等に対して当社株式の流通化について依頼するなど流通株式比率の改善が期待される施策を適時かつ適切に実施して、出来る限り早期に上場維持基準を達成するべく取り組んでいく計画です。

また、当社は、良好な営業・購買・金融取引関係の維持発展等を目的として、事業法人等と政策的に株式の持ち合いをしております。政策保有株式については、毎期取締役会において、保有目的や資本コスト等を検証し、保有目的等を満たさない株式の持ち合い解消に取り組んでおり、今後はこれらの取組を更に加速してまいります。

これらの取組の具体的な時期及び施策については、今後、当社株式を保有する事業法人等と個別に協議をしていく予定ですが、2023年3月末までに上場維持基準を充たすことを目標に進めてまいります。なお、今後、開示すべき事項を決定した場合は速やかにお知らせいたします。

以 上